

懸け橋

平成24年1月15日
第2巻 第4号
(年4回 発行)



ゲストランナー
エリック・ワイナイナさん 笑顔でゴール!

「角(つ)のぐむ」

教育委員 京相 光徳

新年を迎え皆様のご多幸を祈念いたします。昨年は大変な年でしたので、今年は穏やかな年となることを心から願っています。

大寒が近づき寒さの本番はこれからですが、樹木の枝の先をよく見ると少し膨らみ始め、春に向けて準備していることに気付きます。

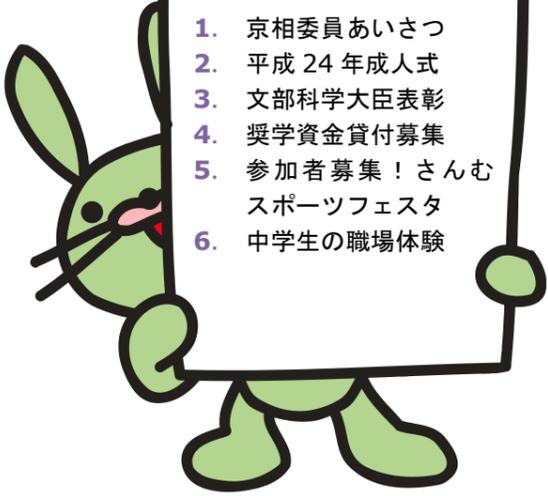
木々の芽が少しずつ変化していく様子を表す言葉について、ある理科作品展の審査委員長が述べたことを思い出します。葉が落ちた後の芽を「芽ぐむ」、春先近くになると「芽立つ」または「角ぐむ」、最後に「芽ぶく」と表現する日本語のことでした。英語の辞書には、それらに相当する言葉は載っていないそうです。

私たちの祖先は、小さな芽一つにも春に向かって少しずつ変化する様子を確かな目でとらえて、きちんとした言葉にしてきたのです。今でも日常生活の中で、外国人には理解しにくい五感の働きやその表現を何気なく使っています。繊細な色や味付けをした料理を美味しいと感じ、鳥や虫の鳴き声を楽しみ、自然の移ろいを短い文字で表現してきた日本人の感性を誇るべきだと思います。

国際化が進む時代に生きる子どもたちが、日本の素晴らしい文化や伝統を大切に、しっかりと身に付けてから諸外国の良い点は取り入れて世界に羽ばたいてほしいと願っています。

この号の内容

1. 京相委員あいさつ
2. 平成24年成人式
3. 文部科学大臣表彰
4. 奨学資金貸付募集
5. 参加者募集!さんむ
6. スポーツフェスタ
- 中学生の職場体験



平成24年山武市成人式

「今までも、これからも 思いやりを大切に歩んでいきたい」

1月8日(日)、成東文化会館で成人式が挙行されました。式典は、成東・松尾地区と山武・蓮沼地区に分けて行われ、約540名の新成人が参加しました。新成人を代表して土屋貴亮さんと尾森唯唯さんが「誓いのことば」を述べ、新たな決意を誓いました。



誓いのことば

山武・蓮沼地区 尾森 唯唯

今回の大震災で、人の心について深く考えさせられました。私達は、被災地の方々の生活必需品が不足している時、自らのこれから起ころうとする物資不足も顧みず「とにかく、今困っている人へ」と物資を被災地へ送りました。心有余裕、それは豊かさで

あると思います。「困っている人のために、何かできることを」...その温かな気持ちで震災後の日本には溢れていました。日本人の「他者を思いやる気持ち」は、世界に誇れるものだと思います。今後もその気持ちを大切に、希望に満ちた未来に向け歩んでいけるよう、仲間たちと邁進していきたいと思っています。

今日まで沢山の愛情を注ぎ、どんな時も支えてくれた両親や家族、先生方、そして今後も多くの時間を共有するであろう仲間たちに心より感謝し、新成人の誓いのことばとさせていただきます。(一部改編)



式典の進行を務めた成人式
実行委員(成東・松尾地区)



「お久しぶりです!」
恩師との再会に満面の笑み



新成人への祝福を歌に込めた山武市職員合唱団



歓喜の声が上がる受付
会場は懐かしさでいっぱい

活動の功績をたたえ 文部科学大臣表彰

社会教育委員 遠藤正之氏(大木)

平成23年11月18日(金)、元千葉

県社会教育委員連絡協議会長の遠藤正之氏が、多年にわたる地域の社会教育振興に功績があったとして、社会教育功労者表彰を受賞されました。氏は、旧山武町から25年間社会教育委員として活躍。その間山武地方や県の社会教育委員連絡協議会会長を歴任し、その功績をたたえ表彰されました。



睦岡小学校支援地域本部

平成23年11月7日(月)、睦岡小学校区で地域の方々がボランティアとして学習・防犯・環境等の支援を行った取り組みが、優れた「地域による学校支援活動」として表彰されました。

自主的な学校支援組織「おやじの会」をベースに睦岡小学校支援地域本部が結成され、地域をあげて学校支援を行っています。「地域の子どもは地域の大人が育てる」をモットーに、地域・学校・行政が連携。子ども達は様々な体験を、大人は子ども達の笑顔を通じて、「絆」が生まれています。



さんぶの森公園でキャンプ

3月申請開始!

**平成 24 年度
奨学資金貸付募集**

経済的理由により修学が困難な方に、奨学資金を貸し付けます。

申込資格・条件

大学に在学中か平成 24 年度入学が決定している方で、次のすべてを満たす方

- (1) 父母(またはこれに代わる方)が5年以上市内に住所を有していること
- (2) 経済的な理由で修学が困難であること
- (3) 学業に優れ、学長または出身学校長の推薦を得られること
- (4) 他の奨学資金の支給または貸与を受けていないこと
- (5) 申請者の世帯において山武市の市税に未納がないこと

貸付額および募集人数

- (1) 修学金 月額 4 万円以内 5 名
- (2) 入学準備金 30 万円以内 5 名

申請手続

(1) 提出書類

- ① 山武市奨学資金貸付申請書(別記第 1 号様式)
- ② 山武市奨学資金推薦書(別記第 2 号様式)
- ③ 出身高等学校の調査書又は成績証明書
- ④ 世帯全員の住所票の写し又はこれに代わる書類
- ⑤ 同一世帯で所得のある方全員の収入を証する書類(確定申告書等の写し)
- ⑥ 合格通知書の写し又は在学証明書

※ 上記①②の書類は、2 月 1 日(水)から教育総務課窓口で配布するほか、市ホームページからダウンロードできます。

(2) 提出方法

持参又は郵送(郵送の場合は必ず「書留」にしてください。)

(3) 申請受付期間 3 月 15 日(木)~4 月 2 日(月)

(郵送の場合は、4 月 2 日(月)の消印まで有効)

提出・問い合わせ先

〒289-1324 山武市殿台 279 番地 1
山武市教育委員会 教育総務課総務企画係 TEL 0475-80-1431



**3/4
(日)**

**スポーツを
気軽に楽しもう!**

**さんむスポーツフェスタ2012
参加者募集**



市体育協会が、みんなで参加できるスポーツイベントを開催します。

会場	内容	時間
さんぶの森中央体育館	ソフトバレーボール大会 (山武市体育協会支部対抗)	8:30~終了
山武中学校体育館	ダブルダッチパフォーマンス &講習会 定員 50 人	10:00~11:30
さんぶの森公園 ふれあい広場	グラウンド・ゴルフ大会 24 チーム(1 チーム 6 人) ウォーキング教室 定員 30 人	9:00~終了 9:00~11:00
さんぶの森中央会館 視聴覚室	AED/心肺蘇生法体験★	9:00~11:30
さんぶの森中央会館 ホール	スポーツ障害に関する 相談コーナー★	9:00~11:30
さんぶの森弓道場	弓道体験★	9:00~11:30
さんぶの森ふれあい公園 多目的広場	技術講習会(サッカー教室) 定員 200 人	9:00~12:00
山武中学校 校庭	技術講習会(陸上教室) 定員 50 人	9:00~12:00

★印の種目は当日参加できます。参加費無料!
雨天時は、屋内で開催される事業のみ開催します。

申込期間 1 月 20 日(金)~2 月 20 日(月)

申込方法 参加申込書に必要事項を記入して提出(郵送・FAX 可)

※ 申込方法等はスポーツ振興課・体育施設・各出張所で配布しているパンフレットでご確認いただけます。また、ホームページでもご案内しています。

問い合わせ先 スポーツ振興課

TEL 0475-80-1461 FAX 0475-80-1400

市役所のほかにも、病院、スーパーマーケット、美容室、郵便局、コンビニなど、たくさんの事業所にお世話になりました。



バイオマスプラスチックの感触を確かめながら、熱心に説明を聞いています。僕も後で触ってみました。想像よりも硬かったです。



講演会の話は面白かったです。「大きくなったら役に立つと思います」と僕が感想を述べたら、会場から笑いが起こりました。

僕は、11月10日(木)・11日(金)にわたって山武市役所で職場体験をしました。何をしているかは全く知りませんでした。が、社会のマナーやルールを身につけようと思いました。

1 日目は生涯学習課で仕事をしました。のびくプラザで家庭教育学級講演会の受付をし、講演会に訪れた方の子どもの託児所を作るために会議室のテーブルやイスを片づけて広いスペースを作りました。また、実際に講演会を聞いて最後に感想を発表しました。

2 日目の教育総務課では、記事作りを指示され市民自治支援課で職場体験をしている生徒を取材しました。上の写真(左)はさんぶの森交流センターあららぎ館のバイオマス体験棟です。2 人はバイオマスについての説明を受け、市民自治支援課の人の話を聞いていました。バイオマスとは、森林を伐採した時に出る木で作ったもので、バイオマスプラスチックや木質ペレットなどがあります。

市役所の仕事は想像していたものと違ってました。ほとんど座っている仕事だと思っていましたが、会場の準備をしたり、色々な所にいたりして結構大変でした。普段できないことができても勉強になりました。

「写真を撮ったり画像を編集したりするのは楽しかったです。出来上がった時は達成感がありました。」

僕は、11月10日(木)・11日(金)にわたって山武市役所で職場体験をしました。何をしているかは全く知りませんでした。が、社会のマナーやルールを身につけようと思いました。

1 日目は生涯学習課で仕事をしました。のびくプラザで家庭教育学級講演会の受付をし、講演会に訪れた方の子どもの託児所を作るために会議室のテーブルやイスを片づけて広いスペースを作りました。また、実際に講演会を聞いて最後に感想を発表しました。

2 日目の教育総務課では、記事作りを指示され市民自治支援課で職場体験をしている生徒を取材しました。上の写真(左)はさんぶの森交流センターあららぎ館のバイオマス体験棟です。2 人はバイオマスについての説明を受け、市民自治支援課の人の話を聞いていました。バイオマスとは、森林を伐採した時に出る木で作ったもので、バイオマスプラスチックや木質ペレットなどがあります。

市役所の仕事は想像していたものと違ってました。ほとんど座っている仕事だと思っていましたが、会場の準備をしたり、色々な所にいたりして結構大変でした。普段できないことができても勉強になりました。

「市役所で働いて」
並木 璃紅

実際市役所で働いてみて、私が想像していたこととは全く違って驚きました。私は市役所の仕事は正直簡単なものだと思っていました。でも、2 日間働いて、市役所の仕事は決して簡単なものではないと思いました。今回、市役所で働いて仕事は決して楽ではないと思いました。そして、私は市役所で働いている人をもっと尊敬できる人だと思いました。

「職場体験を終えて」
成東中学校 成東 華奈

私は職場体験をするまで、市役所がどのようなことをしているかを全く知りませんでした。しかし、この 2 日間、山武市をより良い市にするために一生懸命働いている職員の方々を見て強い憧れを持ちました。



松尾中学校 小柳拓実さん

「懸け橋」
広報マン

「写真を撮ったり画像を編集したりするのは楽しかったです。出来上がった時は達成感がありました。」

市内すべての中学校では、第 2 学年の生徒を対象に職場体験を実施しています。職場体験では、生徒が直接働く人と接することや実際の技術に触れることを通じて、学ぶこと・働くことの意義を体感します。

教育委員会も職場体験の事業として協力。昨秋に成東中学校と松尾中学校の生徒を受け入れました。

教育総務課に配属された生徒には中学生広報マンとして、左記の記事を作成していただきました。

学校教育課に配属された生徒には、感想を寄せていただきました。

**将来の職業を考える機会に
中学生 職場体験**